



OSAKA JONAN
JAPAN



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創立 1969. 5. 30
幹事 浅井 晃

会長 中谷 佳正
会報委員長 宮田 正人

Rotary



ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

2019-2020年度国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マロニー

R 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2442

2019-11-22

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
<https://osakajonan-rc.org/>
E-mail:johan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会 11月22日(第4例会)

●卓話 「仏壇・葬祭の現状と未来」

弊社の仏壇・仏具販売先と葬祭施行の過去と現在の状況を説明し、今後の流れを予想しながらお話しします。

泉 浩一 会員

●情報集会 18:00~20:30

シェラトン都ホテル大阪 3階 「四川」
親睦・出席委員会担当

次週のお知らせ 11月29日(第5例会)

●卓話 「外から見た大学事情 その2」

昨年に引き続き、大学の置かれている現状について

尾崎 敬則 会員

●食膳 <フランス 肉料理>

次々週のお知らせ 12月6日(第1例会)

●卓話 「産業医として真の健康を考える」

浅井 晃 会員

先週の記録 11月15日(第3例会)

●出席報告

出席会員 32名 (内免除会員 8名)

会員総数 44名 (同上 15名)

ゲスト 1名

ビジター 1名

計 34名

ホームクラブ出席率86.49%

11月1日(第1例会)補正出席率100% (MU5名)

●ゲスト&ビジター(敬称略)

丹野秀知(泉大津)

李 頌雅(米山奨学生)

◆会長の時間◆

11月はロータリー財団月間です。ガバナー月信から四宮ガバナーのメッセージをご紹介します。財団は、年間で寄付総額が3億4千万ドルを超えるまで成長し、毎年その92%は各種プログラム補助金と、その運営費に使用されています。

財団のプログラムは3つあります。

1. ポリオ根絶
2. ロータリー平和センターにおける奨学金の提供
3. 補助金プログラム

財団の補助金プログラムには地区補助金・グローバル補助金がありましたが、今年4月より災害救援補助金が加わりました。今年度は特にロータリアクトクラブとの共同事業に補助金を活用して頂く事を強調しております。

そして財団では、特にグローバル補助金事業における成果の持続可能性を強調していますが、具体的な例を1つ挙げて紹介いたします。ロータリーはこれまで何十年にわたり、井戸を掘り、配管工事を行い、浄水設備を整え、流し台やトイレを設置するなどして、人々が安全な水を利用できるよう支援してきました。しかし、最大の課題は、このような設備が整えられた後にあります。それらの設備を維持する為の現地での技術指導や、将来にわたる資金の確保などが求められています。せっかくの素晴らしい奉仕プロジェクトが持続不可能となるない為に忘れてはならない大切なポイントです。

◆幹事報告◆

①四宮孝郎ガバナー及び地区代表幹事から、台風15号千葉県災害支援協力に対する御礼状を頂きました。多数のクラブから約340万円もの多額の寄付が有ったとの事です。

②2019年11月5日 地区ガバナー指名委員会において、慎重な審議の結果、国際ロータリー第2660

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

地区茨木西ロータリークラブ所属 宮里唯子氏が、ガバナー・ミニ・デジゲネート(2022-23年度ガバナー候補者)として選出されたことをご報告申し上げます。

③地区米山奨学委員会より今月の「ハイライトよねやま」が届いております。山口米山奨学委員長に回付いたしております。

◆ 委員会報告 ◆

ライラ実行委員会 梅崎道夫委員長
Team RYLAとの顔合わせ会開催のご案内

11月28日(木)に開催の頭書顔合わせ会の案内を配布させて頂いております。

ゴルフ部 宮田正人キャプテン

本日、11月24日(日)に開催いたします第2回ゴルフコンペ参加者の皆様には、最終案内を配布させて頂いております。

卓話 11月15日 <第3例会> 「ロータリーあれこれ IV」

今井賢二郎会員

今日は私が会員増強委員でもあるので、当クラブの会員の入退会の流れを私の過去40年の在籍中に経験した事を基にお話します。

入会してから10年間位は順調に会員数が伸びて70~80人の間で会員数は落ち着いていましたが、その後シカゴ本部の人頭分担金を増やすために(本部の収入が増える)とにかく会員を増やすようにと指図を出した為、会員の質が目に見えて悪くなり、その結果、立派なロータリアンがどんどん辞めていく様になったのです。それに追いかけるように大阪では阪神大震災が起きた為に大量に会員が退出しました。

その後、その時に加入した質の悪い人達もロータリーの厳しさに耐えられず退会するという悪循環になり、現在に至っている様に私は思っています。今ここで新入会員を増強するには現在のロータリアンの気持ちを大きく変える以外に増強は難しいでしょう。

ではどうしたらいいのでしょうか。

私はロータリークラブの入会条件を昔に戻す以外に無いと思います。まず1クラブ1業種1人、地区の

制限、この枠が無くなった為に大きく変わったのは、大阪では次の6クラブ大阪、東、西、南、北、西南、次に会員数50名以上の10クラブでしょう。2660地区で80クラブあるので他の64クラブは会員増強が非常に厳しくなっています。それは今まで1業種1名、地域の制約によって会員が旨く全地域に散っていた会員達が子へ引き継ぐ時に多くの人が前記のクラブに変更して入会しているのです。ですから他の64クラブはこれに対してどうすればよいでしょう。1つは弱小クラブの合併、もしくは各クラブがそれぞれ個性あふれる特徴を持ったクラブに各会員が全員で磨き上げてこのクラブでなら入会したいなあと思って貰える様にする事です。これがどんなに難しいことか地区にも理解してもらい、地区としてはせめて税務処理上、ロータリーでの出金を経費として落とせるように日本中のガバナーが協力して政府に働きかけるべきでしょう。それをせずに各クラブに会員を増やせと言うのは、弱小クラブに対して横暴だと思うのですが如何ですか。日本の理事のご意見を頂きたいものです。

最後にロータリークラブは、入会させて欲しいという人に入会して貰い、入会してくださいと言われて入会してくる人は拒否したいです。

◆ 職場見学 ◆



▲ (株)熊野工作所様

にこにこ箱

11月15日(第3例会)

・食事会の残金です。

小原、村上(泰)、南賀、石濱、泉、田中 各会員

・その他、お祝い1件

(編集担当 岩永・石濱)

会員増強にご協力を!!